

届出外排出量の試算結果のまとめ(2. 農薬～17. 水道)

本資料に示した数値は暫定的に試算したものであり、第1回公表までに、最新の統計データの入手、排出係数の見直し等により、再計算する予定である。

表1 農薬散布に係る全国の対象物質排出量推計結果(平成12年度;その1)

第一種指定化学物質	全国の届出外排出量(t/年)					
	非対象業種を営む事業者				家庭	合計
	田	果樹園	畑	その他の非農耕地		
1 亜鉛の水溶性化合物	-	37.9	-	-	-	37.9
18 フィプロニル	32.8	-	-	-	-	32.8
20 グルホシネート	21.9	75.2	67.5	84.8	78.5	327.8
33 イミノクタジン	4.2	118.9	57.5	2.8	-	183.4
34 キザロホップエチル	-	-	0.5	-	-	0.5
36 ブタミホス	4.5	-	23.3	11.2	-	38.9
37 EPN	31.2	-	92.2	-	-	123.4
38 ペンディメタリン	-	-	148.2	83.0	-	231.2
39 モリネート	238.9	-	-	-	-	238.9
48 ジネブ	-	51.7	76.2	-	-	127.9
49 マンネブ	-	571.5	91.0	-	-	662.5
50 マンコゼブ	-	1,831.0	1,364.1	-	-	3,195.1
51 ジクアトジプロミド	35.2	96.2	157.8	38.2	28.7	356.2
53 エクロメゾール	-	-	12.4	0.04	-	12.4
75 アトラジン	-	-	48.1	0.1	2.6	50.8
76 メトラクロール	-	-	87.2	-	-	87.2
78 フルアジナム	-	34.2	100.0	-	-	134.2
79 ジフェノコナゾール	-	9.0	7.6	-	-	16.5
81 プレチラクロール	305.8	-	-	-	-	305.8
82 アラクロール	-	-	78.3	-	-	78.3
90 シマジン	-	3.5	39.2	9.4	9.3	61.5
92 イミベンコナゾール	-	3.1	3.8	0.3	0.004	7.1
97 MCP	56.4	0.3	-	35.4	1.2	93.4
98 テニルクロール	35.9	-	-	0.7	-	36.6
105 フルバリネート	-	5.5	5.2	-	-	10.7
106 フェンバレレート	-	4.6	20.8	-	-	25.3
107 シベルメトリン	-	2.0	5.6	-	-	7.6
108 無機シアン化合物(錯塩及びピシアン酸塩を除く)	-	-	-	36.8	-	36.8
110 チオベンカルブ	341.4	-	98.0	-	-	439.3
111 カフェンストロール	114.8	-	-	15.4	-	130.1
122 プロピザミド	-	-	0.6	4.3	-	4.9
125 フルスルファミド	-	-	16.5	-	-	16.5
126 ベンゾフェナップ	85.9	-	-	-	-	85.9
129 ジウロン	2.2	36.3	53.2	65.1	113.2	270.0
130 リニューロン	-	7.1	63.8	-	-	70.9
131 2,4-D	34.0	-	-	22.3	61.6	117.9
136 プロパニル	7.6	2.4	3.6	1.5	-	15.1
137 D-D	-	-	9,559.2	-	-	9,559.2
141 ビラゾキシフェン	37.6	-	-	-	-	37.6
142 ビラゾレート	110.9	-	-	-	-	110.9
143 ジクロベニル	9.5	36.3	36.3	21.9	-	103.9
146 ジチアノン	-	76.6	5.3	-	-	82.0
147 イソプロチオラン	394.9	-	-	12.0	-	407.0
148 エディフェンホス	159.7	-	-	-	-	159.7
149 チオメトン	-	1.5	9.3	-	-	10.8
150 スルプロホス	-	-	1.1	-	-	1.1
151 エチルチオメトン	123.6	-	282.7	19.9	-	426.2
152 ホサロン	-	2.9	16.5	-	-	19.5
153 プロチオホス	-	17.1	52.0	19.6	-	88.7
154 メチダチオン	-	212.2	132.4	-	-	344.6
155 マラソン	18.2	34.6	115.7	2.2	-	170.6
156 ジメトエート	4.1	14.1	57.5	-	-	75.7
161 カルボスルファン	29.9	-	13.5	-	-	43.4
165 フェノチオカルブ	-	9.1	-	-	-	9.1
167 トリクロルホン	78.9	23.6	159.1	63.0	0.03	324.7
169 パラコート	25.2	58.4	82.8	20.3	20.5	207.1
170 エスプロカルブ	274.2	-	-	-	-	274.2
173 フェントエート	76.6	67.3	56.3	-	-	200.2
174 アイオキシニル	-	-	27.8	7.1	-	34.9

注:試算を行った時点では農薬の補助剤に係る排出量データは適用対象別の細分化指標が不足していたため含まれていない。

本資料に示した数値は暫定的に試算したものであり、第1回公表までに、最新の統計データの入手、排出係数の見直し等により、再計算する予定である。

表1 農薬散布に係る全国の対象物質排出量推計結果(平成12年度;その2)

第一種指定化学物質	全国の排出量推計値(t/年)					
	非対象業種を営む事業者				家庭	合計
	田	果樹園	畑	その他の非農耕地		
180	ダゾメット	-	-	2,882.3	0.5	2,882.8
183	ピラクロホス	-	-	44.3	-	44.3
184	シアノホス	-	68.2	14.1	-	82.3
185	ダイアジノン	176.5	71.7	248.3	29.3	525.8
186	ピリダフェンチオン	17.2	24.4	21.1	9.2	71.9
187	キナルホス	-	21.2	-	-	21.2
188	クロルピリホス	-	80.6	36.2	10.0	129.4
189	イソキサチオン	22.4	12.2	104.3	-	144.2
190	ジクロフェンチオン	-	-	9.7	-	9.7
191	バミドチオン	4.2	7.4	3.5	-	15.1
192	フェントロチオン	592.8	269.8	100.0	288.8	1,336.7
193	フェンチオン	232.8	-	67.8	29.0	329.6
194	クロルピリホスメチル	10.7	-	2.0	-	12.7
195	プロフェノホス	-	-	35.2	-	35.2
196	イプロベンホス	202.6	-	-	-	202.6
199	クロロタロニル	78.5	64.6	285.1	79.2	577.6
204	チウラム	35.9	184.0	32.1	93.8	345.7
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	60.2	1,286.0	374.6	3.3	1,727.8
214	クロロピクリン	-	-	7,734.1	-	7,734.1
215	ケルセン	-	57.8	4.1	-	66.9
216	トリクロピル	-	-	-	32.6	32.6
220	トリフルリン	-	-	199.7	1.7	201.4
229	ナプロアニリド	23.5	-	-	-	23.5
245	シメトリン	86.2	-	-	-	86.2
246	オキシ銅	-	294.2	77.6	30.3	402.1
247	クロフェンチジン	-	7.3	2.4	-	9.7
248	エチオン	-	6.3	-	-	6.3
249	ジラム	-	309.6	19.9	1.7	331.2
250	ポリカーバメート	-	42.9	102.1	39.1	184.1
257	ピテルタノール	-	9.5	1.6	0.5	11.6
267	ペルメトリン	0.1	6.3	7.3	-	13.9
274	ブプロフェジン	57.9	-	36.6	-	94.5
275	テブフェノジド	13.2	14.9	-	0.1	28.3
276	ベノミル	35.5	77.9	57.0	2.2	172.6
277	シハロホップチル	89.4	-	-	-	89.4
278	フェンピロキシメート	-	3.0	1.9	-	4.9
279	プロバルギット	-	42.3	16.4	-	58.7
280	ピリダベン	-	8.8	4.5	-	13.3
281	テブフェンピラド	-	2.7	5.7	-	8.5
284	プロピネブ	-	227.3	46.3	-	273.6
288	臭化メチル	-	-	3,988.6	-	3,988.6
289	酸化フェンブタズ	-	39.6	1.8	-	41.4
291	エンドスルファン	-	10.7	35.2	1.5	49.5
301	メフェナセツ	419.5	-	-	-	419.5
322	フェリムゾン	179.5	-	-	0.4	179.9
324	メチル=イソチオシアネート	-	-	173.2	-	173.2
325	イソプロカルブ	13.7	-	-	2.5	16.2
326	プロボキシル	19.4	-	-	-	19.4
328	X M C	24.4	-	0.001	-	24.4
329	カルバリル	18.1	150.1	56.6	1.4	226.3
330	フェノプロカルブ	324.8	-	9.5	0.2	334.6
331	ハロスルフロメチル	-	-	0.05	9.2	9.3
332	アミトラズ	-	10.6	-	-	10.6
333	カーバム	-	-	165.0	3.1	168.2
334	6-メチル-1,3-ジチオロ[4,5-b]キノキサリン-2-オン	-	7.2	4.4	-	11.6
337	ジメピペレート	68.7	-	-	-	68.7
342	ピリプチカルブ	80.8	-	-	6.0	86.8
347	クロルフェンビンホス	-	1.1	9.7	0.7	11.5
348	ジメチルビンホス	30.3	-	-	-	30.3
349	ナレド	-	0.1	9.2	-	9.3
350	ジクロロホス	-	147.1	305.6	10.0	462.7
351	モノクロホス	3.8	-	0.9	0.1	4.9
全物質合計		5,618.4	7,011.5	30,667.4	1,263.3	45,089.8

注: 試算を行った時点では農薬の補助剤に係る排出量データは適用対象別の細分化指標が不足していたため含まれていない。

本資料に示した数値は暫定的に試算したものであり、第1回公表までに、最新の統計データの入手、排出係数の見直し等により、再計算する予定である。

表2 化学物質製品の使用に係る全国の対象物質排出量推計結果（平成12年度）

対象化学物質		全国の届出外排出量（t/年）											合計
		対象業種を営む事業	非対象業種を営む事業者					家庭					
物質番号	物質名	水道	接着剤	塗料	水道	漁網防汚剤	医薬品	接着剤	塗料	防虫・消臭剤	水道	洗浄剤	
4	アクリル酸エチル	-	12	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	13
5	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	-	12	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	13
6	アクリル酸メチル	-	12	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	13
16	2-アミノエタノール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	732	732
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその化合物に限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作業中	
26	石綿	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	41
40	エチルベンゼン	-	-	4,046	-	-	-	-	1,173	-	-	-	5,219
43	エチレングリコール	-	-	5,349	-	-	-	-	16	-	-	-	5,365
63	キシレン	-	1,007	22,115	-	696	-	-	1,463	-	-	-	25,282
69	6価クロム化合物	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	19
95	クロロホルム	作業中	-	-	作業中	-	-	-	-	-	作業中	-	
101	酢酸2-エトキシエチル	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-	-	-	0.6
102	酢酸ビニル	-	207	-	-	-	-	4	-	-	-	-	211
140	p-ジクロロベンゼン	-	-	-	-	-	-	-	-	20,000	-	-	20,000
145	ジクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	138	-	-	-	138
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作業中	
177	スチレン	-	-	924	-	-	-	-	-	-	-	-	924
222	ブromoホルム	作業中	-	-	作業中	-	-	-	-	-	作業中	-	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	-	-	722	-	-	-	-	79	-	-	-	801
227	トルエン	-	6,842	22,182	-	-	-	-	1,274	-	-	-	30,298
230	鉛及びその化合物	-	-	122	-	-	-	-	-	-	-	-	122
250	ポリカーバメート	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
251	ビス（水素化牛脂）ジメチルアンモニウム=クロリド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作業中	
266	フェノール	-	-	92	-	-	-	-	-	-	-	-	92
270	フタル酸ジ-n-ブチル	-	-	78	-	-	-	-	1	-	-	-	79
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	-	-	11	-	-	-	-	0.2	-	-	-	11
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	0.2
304	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	0.7	-	-	-	-	-	-	0.7
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作業中	
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作業中	
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作業中	
310	ホルムアルデヒド	-	102	-	-	-	844	1	-	-	-	-	948
346	モリブデン及びその化合物	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	0.07
合計		作業中	8,196	55,703	作業中	700	844	5	4,144	20,000	作業中	732	90,324

注1：原則として平成12年度における排出量を示す。

注2：第1回公表に含める物質名はすべて示すが、排出量の試算を行っていない物質は排出量の欄に「作業中」と記入した。

注3：漁網防汚剤の排出量には定置網に係る排出量は含まれていない。

本資料に示した数値は暫定的に試算したものであり、第1回公表までに、最新の統計データの入手、排出係数の見直し等により、再計算する予定である。

表3 移動発生源の排ガスに係る全国の対象物質排出量推計結果（平成12年度；その1）

第一種指定化学物質	全国の届出外排出量（t/年）															
	ガソリン・LPG自動車		ディーゼル自動車		二輪車	特殊自動車			貨物船・旅客船等		漁船		鉄道	航空機		合計
	乗用車	貨物車	乗用車	貨物車		産業機械	建設機械	農業機械	港湾区域内	その他	12海里以内	12～200海里		本体	APU	
8 アクロレイン	30	36	81	1,341	61	98	129	17	-	-	6	-	-	-	-	1,798
11 アセトアルデヒド	52	63	441	7,342	207	469	708	91	112	127	66	23	23	6	0.3	9,730
40 エチルベンゼン	283	341	71	1,175	1,173	246	113	20	28	32	119	6	6	-	-	3,612
63 キシレン	1,517	1,830	239	3,973	5,086	578	383	60	112	127	511	23	23	6	0.2	14,468
177 スチレン	75	90	-	-	210	58	-	2	-	-	19	-	-	-	-	454
224 1,3,5-トリメチルベンゼン	379	457	27	455	394	94	44	8	-	-	36	-	-	-	-	1,895
227 トルエン	1,800	2,172	124	2,069	7,905	1,125	199	58	84	95	756	18	17	4	0.2	16,428
268 1,3-ブタジエン	66	80	140	2,333	376	208	225	31	112	127	81	23	23	14	0.6	3,841
298 ベンズアルデヒド	108	130	27	447	236	60	43	7	-	-	22	-	-	-	-	1,080
299 ベンゼン	1,527	1,842	157	2,617	2,337	533	252	44	112	127	260	23	23	15	0.6	9,872
310 ホルムアルデヒド	84	102	1,160	19,314	560	1,309	1,862	242	335	381	192	70	69	5	0.3	25,687
合計	5,921	7,145	2,466	41,067	18,546	4,778	3,959	579	894	1,015	2,069	188	183	51	2.2	88,864

注：原則として平成12年度における排出量を示す。

表3 移動発生源の排ガスに係る全国の対象物質排出量推計結果（平成12年度；その2）

第一種指定化学物質	全国の届出外排出量（t/年）							全国の届出外排出量構成比						
	自動車	二輪車	特殊自動車	船舶	鉄道	航空機	合計	自動車	二輪車	特殊自動車	船舶	鉄道	航空機	合計
8 アクロレイン	1,487	61	244	6	-	-	1,798	82.7%	3.4%	13.6%	0.3%	-	-	100.0%
11 アセトアルデヒド	7,899	207	1,268	328	23	6	9,730	81.2%	2.1%	13.0%	3.4%	0.24%	0.07%	100.0%
40 エチルベンゼン	1,869	1,173	379	184	6	-	3,612	51.8%	32.5%	10.5%	5.1%	0.16%	-	100.0%
63 キシレン	7,559	5,086	1,020	773	23	6	14,468	52.2%	35.2%	7.1%	5.3%	0.16%	0.04%	100.0%
177 スチレン	164	210	60	19	-	-	454	36.2%	46.3%	13.3%	4.2%	-	-	100.0%
224 1,3,5-トリメチルベンゼン	1,319	394	146	36	-	-	1,895	69.6%	20.8%	7.7%	1.9%	-	-	100.0%
227 トルエン	6,166	7,905	1,382	953	17	5	16,428	37.5%	48.1%	8.4%	5.8%	0.11%	0.03%	100.0%
268 1,3-ブタジエン	2,619	376	463	344	23	15	3,841	68.2%	9.8%	12.1%	8.9%	0.60%	0.39%	100.0%
298 ベンズアルデヒド	712	236	110	22	-	-	1,080	65.9%	21.9%	10.2%	2.0%	-	-	100.0%
299 ベンゼン	6,144	2,337	830	522	23	16	9,872	62.2%	23.7%	8.4%	5.3%	0.23%	0.16%	100.0%
310 ホルムアルデヒド	20,660	560	3,413	979	69	5	25,687	80.4%	2.2%	13.3%	3.8%	0.27%	0.02%	100.0%
合計	56,599	18,546	9,316	4,166	183	53	88,864	63.7%	20.9%	10.5%	4.7%	0.21%	0.06%	100.0%

注：原則として平成12年度における排出量を示す。

本資料に示した数値は暫定的に試算したものであり、第1回公表までに、最新の統計データの入手、排出係数の見直し等により、再計算する予定である。

表4 全国における届出外排出量の推計結果(平成12年度;その1)

物質番号	物質名	全国の届出外排出量(t/年)				全国の届出外排出量構成比			
		非対象業種を営む事業者	家庭	移動体	合計	非対象業種を営む事業者	家庭	移動体	合計
1	亜鉛の水溶性化合物	38	-	-	38	100.0%	-	-	100.0%
4	アクリル酸エチル	12	0.09	-	13	99.3%	0.7%	-	100.0%
5	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	12	0.09	-	13	99.3%	0.7%	-	100.0%
6	アクリル酸メチル	12	0.09	-	13	99.3%	0.7%	-	100.0%
8	アクrolein	-	-	1,798	1,798	-	-	100.0%	100.0%
11	アセトアルデヒド	-	-	9,729	9,729	-	-	100.0%	100.0%
16	2-アミノエタノール	-	732	-	732	-	100.0%	-	100.0%
18	フィボロリン	33	-	-	33	100.0%	-	-	100.0%
20	グルホシネート	249	78	-	328	76.1%	23.9%	-	100.0%
26	石綿	0.6	-	-	0.6	100.0%	-	-	100.0%
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	41	-	-	41	100.0%	-	-	100.0%
33	イミダジン	183	-	-	183	100.0%	-	-	100.0%
34	キザロホップエチル	0.5	-	-	0.5	100.0%	-	-	100.0%
36	プタミホス	39	-	-	39	100.0%	-	-	100.0%
37	E P N	123	-	-	123	100.0%	-	-	100.0%
38	ペンディメタリン	231	-	-	231	100.0%	-	-	100.0%
39	モリネート	239	-	-	239	100.0%	-	-	100.0%
40	エチルベンゼン	4,046	1,173	3,612	8,831	45.8%	13.3%	40.9%	100.0%
43	エチレングリコール	5,349	16	-	5,365	99.7%	0.3%	-	100.0%
48	ジネブ	128	-	-	128	100.0%	-	-	100.0%
49	マンネブ	663	-	-	663	100.0%	-	-	100.0%
50	マンコゼブ	3,195	-	-	3,195	100.0%	-	-	100.0%
51	ジクアトジプロミド	327	29	-	356	91.9%	8.1%	-	100.0%
53	エクロメゾール	12	-	-	12	100.0%	-	-	100.0%
63	キシレン	23,818	1,463	14,467	39,748	59.9%	3.7%	36.4%	100.0%
69	6価クロム化合物	19	-	-	19	100.0%	-	-	100.0%
75	アトラジン	48	3	-	51	94.9%	5.1%	-	100.0%
76	メトラクロール	87	-	-	87	100.0%	-	-	100.0%
78	フルアジナム	134	-	-	134	100.0%	-	-	100.0%
79	ジフェノコナゾール	17	-	-	17	100.0%	-	-	100.0%
81	プレチラクロール	306	-	-	306	100.0%	-	-	100.0%
82	アラクロール	78	-	-	78	100.0%	-	-	100.0%
90	シマジン	52	9	-	61	84.8%	15.2%	-	100.0%
92	イミベンコナゾール	7	0.004	-	7	99.9%	0.1%	-	100.0%
97	M C P	92	1	-	93	98.7%	1.3%	-	100.0%
98	テニルクロール	37	-	-	37	100.0%	-	-	100.0%
101	酢酸2-エトキシエチル	-	0.6	-	0.6	-	100.0%	-	100.0%
102	酢酸ビニル	207	4	-	211	98.1%	1.9%	-	100.0%
105	フルバリネート	11	-	-	11	100.0%	-	-	100.0%
106	フェンバレレート	25	-	-	25	100.0%	-	-	100.0%
107	シベルメリン	8	-	-	8	100.0%	-	-	100.0%
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	37	-	-	37	100.0%	-	-	100.0%
110	チオベンカルブ	439	-	-	439	100.0%	-	-	100.0%
111	カフェンストロール	130	-	-	130	100.0%	-	-	100.0%
122	プロピザミド	5	-	-	5	100.0%	-	-	100.0%
125	フルスルファミド	16	-	-	16	100.0%	-	-	100.0%
126	ベンゾフェナップ	86	-	-	86	100.0%	-	-	100.0%
129	ジウロン	157	113	-	270	58.1%	41.9%	-	100.0%
130	リニユロン	71	-	-	71	100.0%	-	-	100.0%
131	2,4-D	56	62	-	118	47.8%	52.2%	-	100.0%
136	プロパニル	15	-	-	15	100.0%	-	-	100.0%
137	D-D	9,559	-	-	9,559	100.0%	-	-	100.0%
140	p-ジクロロベンゼン	-	20,000	-	20,000	-	100.0%	-	100.0%
141	ピラゾキシフェン	38	-	-	38	100.0%	-	-	100.0%
142	ピラゾレート	111	-	-	111	100.0%	-	-	100.0%
143	ジクロベニル	104	-	-	104	100.0%	-	-	100.0%
145	ジクロロメタン	-	138	-	138	-	100.0%	-	100.0%
146	ジチアノン	82	-	-	82	100.0%	-	-	100.0%
147	イソプロチオラン	407	-	-	407	100.0%	-	-	100.0%
148	エディフェンホス	160	-	-	160	100.0%	-	-	100.0%
149	チオメト	11	-	-	11	100.0%	-	-	100.0%
150	スルプロホス	1	-	-	1	100.0%	-	-	100.0%
151	エチルチオメト	426	-	-	426	100.0%	-	-	100.0%
152	ホサロン	19	-	-	19	100.0%	-	-	100.0%
153	プロチオホス	89	-	-	89	100.0%	-	-	100.0%
154	メチダチオン	345	-	-	345	100.0%	-	-	100.0%
155	マラソン	171	-	-	171	100.0%	-	-	100.0%
156	ジメトエート	76	-	-	76	100.0%	-	-	100.0%
161	カルボスルファン	43	-	-	43	100.0%	-	-	100.0%
165	フェノチオカルブ	9	-	-	9	100.0%	-	-	100.0%
167	トリクロルホン	325	0.03	-	325	99.99%	0.01%	-	100.0%
169	パラコート	187	21	-	207	90.1%	9.9%	-	100.0%
170	エスプロカルブ	274	-	-	274	100.0%	-	-	100.0%
173	フェントエート	200	-	-	200	100.0%	-	-	100.0%
174	アイオキシニル	35	-	-	35	100.0%	-	-	100.0%
177	スチレン	924	-	454	1,378	67.1%	-	32.9%	100.0%
180	ダゾメット	2,883	-	-	2,883	100.0%	-	-	100.0%

本資料に示した数値は暫定的に試算したものであり、第1回公表までに、最新の統計データの入手、排出係数の見直し等により、再計算する予定である。

表4 全国における届出外排出量の推計結果(平成12年度;その2)

物質番号	物質名	全国の届出外排出量(t/年)				全国の届出外排出量構成比			
		非対象業種を営む事業者	家庭	移動体	合計	非対象業種を営む事業者	家庭	移動体	合計
183	ピラクロホス	44	-	-	44	100.0%	-	-	100.0%
184	シアノホス	82	-	-	82	100.0%	-	-	100.0%
185	ダイアジノン	526	0.00004	-	526	99.99999%	0.00001%	-	100.0%
186	ピリダフェンチオン	72	-	-	72	100.0%	-	-	100.0%
187	キナルホス	21	-	-	21	100.0%	-	-	100.0%
188	クロルピリホス	127	3	-	129	98.0%	2.0%	-	100.0%
189	イソキサチオン	139	44	-	183	75.9%	24.1%	-	100.0%
190	ジクロフェンチオン	10	-	-	10	100.0%	-	-	100.0%
191	バミドチオン	15	-	-	15	100.0%	-	-	100.0%
192	フェントロチオン	1,251	85	-	1,337	93.6%	6.4%	-	100.0%
193	フェンチオン	330	-	-	330	100.0%	-	-	100.0%
194	クロルピリホスメチル	13	-	-	13	100.0%	-	-	100.0%
195	プロフェノホス	35	-	-	35	100.0%	-	-	100.0%
196	イプロベンホス	203	-	-	203	100.0%	-	-	100.0%
199	クロルタロニル	507	70	-	578	87.8%	12.2%	-	100.0%
204	チウラム	346	-	-	346	100.0%	-	-	100.0%
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	1,724	4	-	1,728	99.8%	0.2%	-	100.0%
214	クロロピクリン	7,734	-	-	7,734	100.0%	-	-	100.0%
215	ケルセン	62	5	-	67	92.7%	7.3%	-	100.0%
216	トリクロピル	33	0.05	-	33	99.8%	0.2%	-	100.0%
220	トリフルラリン	201	0.1	-	201	99.96%	0.04%	-	100.0%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	722	79	1,895	2,696	26.8%	2.9%	70.3%	100.0%
227	トルエン	29,025	1,274	16,427	46,725	62.1%	2.7%	35.2%	100.0%
229	ナプロアニリド	24	-	-	24	100.0%	-	-	100.0%
230	鉛及びその化合物	122	-	-	122	100.0%	-	-	100.0%
245	シメトリン	86	-	-	86	100.0%	-	-	100.0%
246	オキシ銅	402	-	-	402	100.0%	-	-	100.0%
247	クロフェンチジン	10	-	-	10	100.0%	-	-	100.0%
248	エチオン	6	-	-	6	100.0%	-	-	100.0%
249	ジラム	331	-	-	331	100.0%	-	-	100.0%
250	ポリカーバメート	186	-	-	186	100.0%	-	-	100.0%
257	ピテルタノール	12	0.02	-	12	99.9%	0.1%	-	100.0%
266	フェノール	92	-	-	92	100.0%	-	-	100.0%
267	ベルメトリン	14	0.2	-	14	98.3%	1.7%	-	100.0%
268	1,3-ブタジエン	-	-	3,838	3,838	-	-	100.0%	100.0%
270	フタル酸ジ-n-ブチル	78	0.6	-	79	99.2%	0.8%	-	100.0%
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	11	0.2	-	11	98.6%	1.4%	-	100.0%
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	-	0.2	-	0.2	-	100.0%	-	100.0%
274	ブプロフェジン	94	-	-	94	100.0%	-	-	100.0%
275	テブフェノジド	28	0.1	-	28	99.5%	0.5%	-	100.0%
276	ペノミル	173	-	-	173	100.0%	-	-	100.0%
277	シハロホップブチル	89	-	-	89	100.0%	-	-	100.0%
278	フェンピロキシメート	5	-	-	5	100.0%	-	-	100.0%
279	プロバルギット	59	-	-	59	100.0%	-	-	100.0%
280	ピリダベン	13	-	-	13	100.0%	-	-	100.0%
281	テブフェンピラド	8	-	-	8	100.0%	-	-	100.0%
284	プロピネブ	274	-	-	274	100.0%	-	-	100.0%
288	臭化メチル	3,989	-	-	3,989	100.0%	-	-	100.0%
289	酸化フェンブタスズ	41	-	-	41	100.0%	-	-	100.0%
291	エンドスルファン	47	2	-	50	95.7%	4.3%	-	100.0%
298	ペンズアルデヒド	-	-	1,080	1,080	-	-	100.0%	100.0%
299	ベンゼン	-	-	9,870	9,870	-	-	100.0%	100.0%
301	メフェナセット	419	-	-	419	100.0%	-	-	100.0%
304	ほう素及びその化合物	0.7	-	-	0.7	100.0%	-	-	100.0%
310	ホルムアルデヒド	947	1	25,686	26,634	3.6%	0.004%	96.4%	100.0%
322	フェリムゾン	180	-	-	180	100.0%	-	-	100.0%
324	メチル=イソチオシアネート	173	-	-	173	100.0%	-	-	100.0%
325	イソプロカルブ	16	-	-	16	100.0%	-	-	100.0%
326	プロボキシル	19	-	-	19	100.0%	-	-	100.0%
328	XMC	24	0.008	-	24	99.97%	0.03%	-	100.0%
329	カルバリル	226	-	-	226	100.0%	-	-	100.0%
330	フェノブカルブ	335	-	-	335	100.0%	-	-	100.0%
331	ハロスルフロメチル	9	-	-	9	100.0%	-	-	100.0%
332	アミトラス	11	-	-	11	100.0%	-	-	100.0%
333	カーバム	168	-	-	168	100.0%	-	-	100.0%
334	6-メチル-1,3-ジチオ[4,5-b]キノキサリン-2-オン	12	-	-	12	100.0%	-	-	100.0%
337	ジメビベレート	69	-	-	69	100.0%	-	-	100.0%
342	ピリブチカルブ	87	-	-	87	100.0%	-	-	100.0%
346	モリブデン及びその化合物	0.07	-	-	0.07	100.0%	-	-	100.0%
347	クロルフェンピホス	11	-	-	11	100.0%	-	-	100.0%
348	ジメチルピホス	30	-	-	30	100.0%	-	-	100.0%
349	ナレド	9	-	-	9	100.0%	-	-	100.0%
350	ジクロルボス	463	-	-	463	100.0%	-	-	100.0%
351	モノクロトホス	5	-	-	5	100.0%	-	-	100.0%
	合計	110,003	25,410	88,856	224,269	49.0%	11.3%	39.6%	100.0%

注1:原則として平成12年度における排出量を示す。

注2:農業の補助剤に係る排出量データは含まれていない。

届出外排出量に関する用語集(2. 農薬～17. 水道)

	用語	用語の意味
あ行	運行モード	船舶に係る燃料消費量等を推計するのに使われる船舶の荷役、航行等の区分のこと。
	運転モード	航空機のエンジン本体からの対象物質(別掲)の排出係数を設定するための、航空機の運転方法の分類のこと。既存の推計手法に従い、LTOサイクル(別掲)において、4種類の運転モードを設定した。
	MSDS	"Material Safety Data Sheet"の略称で、化学物質等安全データシートともいう。第一種指定化学物質(別掲)の含有率等が記載されており、化学物質を含む製品の製造事業者や販売事業者からユーザー側に提供することが義務づけられているもの。
	LTO サイクル	「Landing and Take Off」の略称で、空港周辺における航空機の着陸から離陸までのサイクルのこと。アプローチ(進入)、アイドル(アイドリング)、テイクオフ(離陸)及びクライム(上昇)の4つの運転モード(別掲)に分類される。
か行	外航	船舶(貨物船、旅客船等)が国内の港湾と海外の港湾の間を往復すること。また、外航に使われる船舶のことを外航船舶という。
	界面活性剤	水の表面張力を低下させる働きのある物質のこと。洗浄剤(別掲)の他、農薬、化粧品、塗料等の各種製品に使われている。
	海里	海上の距離を表す単位で、1海里は1,852mに相当する。
	可塑剤	合成樹脂等に柔軟性を与えるために添加される化学物質のこと。
	活動量	排出係数に乗じることで排出量となる数量のこと。 例えば、自動車排ガスに係る排出係数(mg/km)に対応する活動量は自動車走行量(km/年)である。
	カバー率	実際の数量に対する調査結果の捕捉率のこと。 実態調査等で得られたデータは、一般には対象となる範囲の全体をカバーしていないため、その単純集計は必ずしも実態を正確に反映していない。このように、実際の対象範囲の全体に対し回答結果が占める割合を「カバー率」と呼ぶ。アンケート調査等の回答率と同じ意味で使う場合もあるが、アンケートの回答に偏りがある場合(例:大企業ほど回答率が高い場合)は、単純な回答率ではなく、出荷額等に基づいてカバー率を定義するのが一般的である。
	仮の使用量	農薬に係る推計にあたって使用量を推計するために暫定的に設定した使用量のことであり、この数量に補正を加えることで最終的な使用量が推計される。「仮の出荷量」等も同様の考えで定義される。 「農薬種類別・適用対象別」のように、複数の区分がクロスした使用量等を設定する場合、「農薬種類」や「適用対象」といった単独の区分毎に補正を行う場合がある。このような推計をする場合、どちらか一方の指標を使って補正しても、もう一方の指標との整合が必ずしも取れないため、一方の指標によって補正した結果を「仮の使用量」等と呼ぶ。
	幹線道路	「道路交通センサス」(別掲)にて自動車等の交通量(別掲)が把握可能な道路のこと。一般には、交通量が多い道路である。
	関連指標	地域別出荷量等を推計するための指標のことで、通常は対象となる製品等の種類に最も相関が高いと考えられる統計データが使われる。 製品出荷量はその「関連指標」の値に比例すると仮定すれば、全国出荷量から都道府県別出荷量が推計される。例えば、建築現場用の塗料は「新築着工床面積(m ² /年)」を関連指標として、都道府県別の塗料出荷量(t/年)が推計される。

	用語	用語の意味
か行	揮発性有機化合物(VOC)	「Volatile Organic Compounds」の略称。有機化合物のうち、沸点が概ね250 以下の物質を指す場合が多い。炭化水素(別掲)のほか、ジクロロメタン等のハロゲン化炭化水素やアルデヒド類等の含酸素化合物などにも含まれる。 溶剤、燃料、工業原料などとして VOC を用いる際に、特に開放系では蒸発によって VOC が排出される。また、有機化合物の燃焼においても、非意図的に VOC が生成する。VOC のうち、メタンは反応性に乏しいため、メタン以外の VOC だけを対象とする場合があり、それを NMVOC(別掲)という。
	漁網防汚剤	漁網に藻類や貝類が付着するのを防止するために塗布する薬剤のこと。定置網漁業で用いられる定置網や、水産養殖業で用いられる網に使われ、海中での網の使用に伴って漁網防汚剤が少量ずつ海中に溶出し、また、網に塗布する際に溶剤のキシレンが大気中に排出されると考えられる。
	区間延長	道路区間(別掲)ごとの長さ(km)をいう。
	下水道普及率	ある地域の人口総数(人)に対し、公共下水道が普及している地域に居住する人口(人)の割合(%)のこと。 対象物質が水域へ排出される場合、公共用水域へ排出される量と公共下水道に移動する量とを分けて推計するための指標として用いられる。
	公共用水域	河川、湖沼、港湾、沿岸海岸、かんがい用水路、その他公共の用に供される水域や、これらに接続する水路等のこと。 水質汚濁防止法において公共用水域とは、終末処理場を設置する公共下水道及び流域下水道以外の公共の用に供される水路、水域と規定され、また環境基本法に基づいて公共用水域の水質環境基準が設定されている。
	交通量	道路区間(別掲)に設定した観測地点において、12 時間又は 24 時間に通過した自動車等の台数(台/12h 又は台/24h)のこと。
	号番号	第一種指定化学物質(別掲)に付されている物質の番号をいう。「物質番号」と表現する場合もあるが、同義である。
	港湾区域	港湾法で定める手続きにより、運輸大臣又は都道府県知事が港湾管理者の権限の及びうる範囲として認可した水域のこと。 港湾区域は、経済的に一体の港湾として管理運営するために必要な最小限度の区域とされている。港湾区域は 港湾管理者業務、港湾施設、入港料徴収についての地域的範囲を画するものであり、また、 港湾管理者の長には、公有水面埋立法による埋立の免許や工事等の許可権限等の職権が属する等の法効果が生じる。
	コールドスタート	自動車のエンジンが常温の状態ではエンジンを始動し、排気ガスの成分分析を開始すること。触媒が十分機能しないため、走行量当たりの炭化水素排出量等が一般に高い。今回のPRTTRで採用した排出係数は、コールドスタートによる排出の寄与を想定していないため、実際の排出量よりも過小に見積もられている可能性がある。
	呼吸ロス	燃料等の貯蔵タンク内の気体が温度変化に伴って外部へ排出されること。 温度変化により、燃料等のタンクの気体が膨張・収縮するため、タンク内に蒸発した状態で充満していた物質が通気管から大気へ放出し、また逆に空気が流入する。これを繰り返すことにより、貯蔵されている燃料等が少量ずつ減少する。
	個別物質	炭化水素(別掲)のような化学物質のグループではなく、第一種指定化学物質(別掲)として規定されている個々の化学物質のこと。例えば、炭化水素中の個別物質にはベンゼンやトルエン等が含まれる。
	混雑時旅行速度	各道路区間において、最も混雑している時間帯の旅行速度(別掲)のこと。 何れの道路区間においても、実際の旅行速度は時間帯によって変化するものの、今回の推計では道路区間毎に「混雑時旅行速度」で旅行速度を代表させ、排出係数を設定した。

	用語	用語の意味
さ行	細街路	「道路交通センサス」(別掲)では自動車等の交通量(別掲)が把握できない道路のこと。一般には、交通量が少ない道路である。 幹線道路(別掲)と細街路の走行量(別掲)を合計することで、地域全体の自動車等の走行量となる。 細街路の走行量は、自動車輸送統計年報(別掲)から得られる地域全体の走行量と幹線道路の走行量の差として推計される。
	剤型	農薬(別掲)の薬剤としての形状を分類するための名称のこと。例えば、乳剤、粉剤、水和剤、くん蒸剤などがある。
	産業連関表(延長表)	総務省が5年毎に作成する産業連関表を補完するために経済産業省が作成する統計資料のことであり、投入表や産出表などから構成されている。そのうち産出表には、「塗料」や「農薬」といった部門毎の全国における生産者価格(百万円)等が必要分野(別掲)ごとに記載されている。 経済産業省では、最新時点の経済構造を反映した産業連関分析を可能にするため、昭和48年以降、毎年、産業連関表(延長表)を作成している。産業連関表(延長表)は、総務省をはじめとする10府省庁の共同作業として5年毎に作成される産業連関表(基礎表)をベースに、経済産業省が独自に作成している我が国の経済構造を明らかにする基礎統計である。
	自動車輸送統計年報	国土交通省(旧運輸省)が発行・実施している自動車輸送統計および自動車関係諸統計が収録されている年報のこと。 抽出された自動車ユーザーの報告した自動車走行距離等を地域別に集計し、地域別の実際の走行量等を拡大推計した結果が記載されている。細街路(別掲)を含めた道路全体の走行量が把握できるものの、集計される地域が「走行した場所」ではなく「自動車の本拠地」であるため、本拠地から離れて走行した車両の分だけ「当該地域の走行量」と乖離していると考えられる。
	樹脂原料(未反応モノマー)	塗料等の製造段階で製品中に未反応のまま微量に残存するモノマーのこと。 塗料や接着剤等の製品には一般に樹脂が使われており、塗料等の製造段階でモノマーが重合してポリマー(樹脂)となっている。しかし、モノマーを完全に重合させることができず、未反応のモノマーが製品中に微量ながら残存することがあり、それが塗料等の使用段階で環境中に排出すると考えられる。
	需要分野	製品が使用される分野のこと。 塗料や接着剤といった製品は、一般に複数の分野で使用されており、製品が使用される分野は製品の種類毎に異なるが、このような分野のことを一般に「需要分野」と呼ぶ。「建築現場」や「家庭」などが需要分野の代表的な例である。
	需要割合	製品の出荷量全体に対する、需要分野(別掲)ごとの出荷量の割合のこと。 例えば、塗料Aの4割が建築現場向けに出荷されているとすると、塗料Aにおける建築現場の需要割合は40%である。
	消火剤	火事等を消火するのに散布する薬剤のこと。特にハロゲン化物消火剤には、第一種指定化学物質(別掲)に該当するハロンが使われる。 ハロン(炭素数2以下の脂肪族炭化水素の水素をハロゲンで置換したものは、含有するハロゲン原子が熱分解して燃焼にマイナスの触媒的な働きをするため、消火剤として使用される。オゾン層破壊物質としてハロン1211、1301、2402が全廃の対象となっている。
	シンナー(希釈溶剤)	揮発性の有機溶剤(別掲)の混合物のこと。 例えば塗料の希釈に使用する場合、目的とする塗料の種類に合わせて、塗装時の粘度調整のために配合されるが、数種の塗料に共通して使用できるシンナーもある。その代表的なものが塗料用シンナーと呼ばれるもので、主成分は石油系炭化水素である。
	製品種類	「塗料」や「接着剤」といった製品を細分化した製品グループのこと。 「塗料」や「接着剤」といった化学物質製品には、使われる分野ごとに様々な機能が要求され、膨大な種類の製品が存在しているが、機能等が類似する製品をグループ化するのが一般的である。

	用語	用語の意味
さ行	洗浄剤	家庭用や業務用として洗浄用途に使用される合成洗剤等の薬剤のこと。洗浄剤には、界面活性剤や中和剤として第一種指定化学物質(別掲)が含まれている。
	走行量	道路区間(別掲)又は地域全体の幹線道路や道路全体を走行した自動車等の延べ走行距離(km)のこと。 例えば、道路区間ごとの交通量(台/24h)に当該道路区間の区間延長(km; 別掲)を乗じることで、当該道路区間の1日走行量が算出され、それを1年間の走行量に換算し、さらに地域全体で集計することで、幹線道路における延べ走行量(km/年)が推計される。交通量(台/24h)と区間延長(km)を乗じて推計されるため、走行量の単位としてしばしば“台km/年”が使われるが、単に“km/年”とする場合とほぼ同じ意味である。
た行	第一種指定化学物質	「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に基づき、PRTTR制度の対象として指定された354種類の化学物質のこと。第二種指定化学物質と共に、MSDS(別掲)の提供も同時に義務づけられた。 人の健康を損なうおそれ、または動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼすおそれ、またはオゾン層破壊物質などであって、相当広範囲の地域の環境において継続して存すると認められる化学物質であり、化学物質排出把握管理促進法に基づいて、政令により指定された。
	対象業種	PRTTR制度で排出量を届け出る必要がある事業者の業種のこと。製造業の他、倉庫業、燃料小売業、洗濯業等の24業種が規定されている。
	対象物質	PRTTR制度の第一種指定化学物質(別掲)のこと。事業者による届出や非点源(別掲)の推計の対象になることから「対象物質」と呼ばれることがある。
	対全国比	排出量等の地域配分に使う関連指標(別掲)の値について、全国の合計に対する都道府県別の値の比率のこと。
	炭化水素	炭素と水素だけから構成される有機化合物(C _n H _m)のこと。しばしば“HC”と略称される。第一種指定化学物質(別掲)としてはベンゼンやトルエン等が代表的なものである。 塩素や酸素を含む化合物(例えば、ジクロロメタンやホルムアルデヒド)も広義の炭化水素と呼ぶ場合があるが、それらは「ハロゲン化炭化水素」等と呼ぶのが一般的であり、単に「炭化水素」という場合には含まれない。 炭素原子相互の結合の仕方によって鎖式炭化水素と環式炭化水素とに大別される。人為的発生源としては、塗料、印刷インキ、接着剤、金属洗浄、クリーニングなどに使われる有機溶剤(別掲)に由来するものが多い。自動車等の排気ガスにも含まれている。
	昼夜率	道路交通センサス(別掲)における自動車や二輪車の交通量について、昼間12時間交通量に対する24時間交通量の比で定義される値のこと。
	定格出力	エンジンが最大の出力で稼働した時に得られる出力(kW)のこと。
	定格燃料消費量	エンジンが定格出力(別掲)で稼働したときに、単位時間あたりに消費する燃料の数量のこと。例えば船舶の場合、1隻が1時間で消費する燃料の重量として、“kg/隻・時”といった単位で表される。
	適用対象	農薬(別掲)が適用(使用)される対象(稲、野菜、果樹等)の分類のこと。農薬以外の製品の需要分野(別掲)に相当する。
	道路区間	幹線道路(別掲)における交通量(別掲)は、当該道路全体ではなく、当該道路を細分化した個々の区間毎に設定しており、それらの区間のことを「道路区間」という。

	用語	用語の意味
た行	道路交通センサス	正式名称は「全国道路・街路交通情勢調査」であり、全国の道路と道路交通の実態を把握することを目的に約3年に1回実施される調査のこと。また、その結果を収録した統計データの名称として使うこともある。 国土交通省が行っており、幹線道路(別掲)における観測地点別の車種別交通量等が調査される。
	トリハロメタン	メタンの三つの水素原子をハロゲン原子で置換した4種類の化合物の総称。 浄水場で水に注入された塩素等と有機物との反応により水道水中で非意図的に生成される物質で、第一種指定化学物質(別掲)としてはクロロホルム及びブロモホルムの2物質が該当する。
な行	内航	船舶(貨物船、旅客船等)が国内における他の港湾との間を航行すること。また、内航に使われる船舶のことを内航船舶という。内航の場合、船舶は原則として領海内(陸地から12海里(別掲)以内)を航行する。
	燃料種類	移動体等が消費する燃料の種類のこと。ガソリン、軽油、A重油、C重油、LPG、天然ガスなどがある。
	農薬	農薬取締法に基づいて登録されている薬剤のこと。 複数の原体(有効成分 別掲)を組み合わせてたり、補助剤(別掲)を添加して製剤として使用するのが一般的である。農薬と同じ原体を含む薬剤でも、非農耕地での使用に用途が限定され、農薬取締法に従って登録されていないものは「農薬」には該当しない。
	農薬種類	農薬(別掲)の商品を分類した種類のこと。同じ農薬種類でも、農薬メーカー毎に異なった商品を販売している場合があるが、農薬種類が同じである限り、有効成分(別掲)の含有率は同じである。 各農薬種類には5桁の農薬種類コードが付けられている(平成12年9月30日現在、5,310種類)。 「殺虫剤」や「除草剤」といった農薬種類のグループも農薬種類と呼ぶ場合がある。例えば、殺虫剤は農薬種類コードが1000番台の農薬種類から構成され、除草剤は農薬種類コードが40000番台の農薬種類から構成される。
	農薬年度	農薬(別掲)の出荷数量が把握できる期間のこと。前年の10月から当該年の9月までをいい、例えば平成12農薬年度とは、平成11年10月から平成12年9月までを示す。
は行	排出先(排出媒体)	対象物質(別掲)が排出される大気、公共用水域(別掲)、土壌の区分のこと。「排出媒体」や単に「媒体」という場合も同義である。
	排出率	対象物質の(別掲)の使用量に対して、その使用に伴って実際に環境中へ排出される数量の割合のことで、百分率(%)で表される。
	発泡剤	断熱性を高めるような目的で合成樹脂等に「泡状の空間」を作って封入される気体のこと。 冷媒(別掲)と同様に、反応性に乏しく安定なフロンガスが幅広く使われてきたが、オゾン層破壊や地球温暖化の観点から、他の物質への代替が進められている。
	PRTR	"Pollutant Release and Transfer Register"の略称。 我が国では「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(別掲)によって届出等の法的義務が課せられている。事業者によって届出された排出量・移動量と共に、国が別途推計する届出対象外の排出量と併せてデータを一般に公表し、事業者の自主管理の促進や環境リスクの把握など、さまざまな目的にデータを活用することとしている。
	PRTRパイロット事業	法に基づくPRTR(別掲)に先行して、環境庁(当時)が平成9年度から平成13年度まで一部地域で実施したPRTRのモデル事業のこと。平成12年度からは経済産業省との共同事業として実施した。

	用語	用語の意味
は行	非対象業種	法が規定する PRTR の対象業種(別掲)以外のすべての業種のこと。例えば、農林水産業や建設業、運輸・通信業などが非対象業種に該当する。
	非メタン揮発性有機化合物(NMVOC)	「Non-Methane Volatile Organic Compounds」の略称。VOC(別掲)から反応性の低いメタンを除外した化合物の総称。
	標準含有率	塗料等の製品を分類し、各分類毎に第一種指定化学物質(別掲)の含有率を標準値として設定したもの。 「塗料」や「接着剤」といった化学物質製品は、個々の製品毎に第一種指定化学物質(別掲)の含有率が異なるが、膨大な数の製品で含有率を設定して排出量を推計するのは困難なため、機能等が類似する製品をグループ化し、それらのグループ毎に第一種指定化学物質の平均的な含有率を設定するのが一般的である。
	負荷率	エンジンの定格出力(kW; 別掲)に対する実際の稼働時の出力(kW)の比率のこと。
	ヘンリー定数	揮発性物質を含む溶液が平衡状態にあるときの、気相と液相の分配係数のこと。 気体の液体に対する溶解度は温度が低いほど、また気体の分圧 p (atm)が高いほど大きくなるが、温度が一定の時、溶液中の溶質ガスのモル分率 x が小さい範囲では、 x は p に比例し、 $p = E x$ で表される。この関係式における定数 E をヘンリー定数(atm/モル分率)という。
	補助剤	農薬(別掲)に含まれる成分のうち、有効成分(別掲)の効力を維持、増強したり、施用しやすいようにするために加える物質のこと。
	補助動力装置(APU)	「Auxiliary Power Unit」の略称であり、航空機のエンジン停止時の機内冷暖房等の動力源として利用される機器のこと。
	補正係数	「仮の使用量」(別掲)等に乗じることによって実際の使用量を算出する値のこと。
や行	有効成分	農薬(別掲)の中に含まれる成分で、「殺虫」や「除草」といった当該農薬の目的とする機能を持つ成分のこと。農薬種類(別掲)毎に有効成分の種類や含有率は同じである。
	有収水量	浄水場から供給される水量に関連し、料金徴収の基礎となる水量のこと。 計量栓はメータにより計算した実使用水量を、また定額栓は使用人員、浴槽、水洗便所等の認定基準水量に人員及び栓数を乗じて得た水量をいう。
	溶剤(有機溶剤)	他の物質を溶解するのに使われる液状の物質のこと。特に有機化合物が溶剤として使われる場合、「有機溶剤」と呼ばれる。 有機溶剤は塗料や接着剤等に幅広く使用されており、非水溶性の物質をよく溶かし、一般に揮発性が高い物質である。第一種指定化学物質(別掲)ではトルエンやキシレンが代表的な物質であり、PRTR(別掲)では特に大気への排出量を把握することが重要である。
ら行	旅行速度	道路区間ごとに、停止も含めた自動車等の走行速度(km/h)のこと。
	離陸推力	飛行機が離陸するときに必要なとするエンジンの推進力をいう。
	冷媒	エアコンや冷蔵庫等の冷凍機に封入し、圧縮と膨張を繰り返すことによって冷気を取り出すのに使われる気体のこと。 発泡剤(別掲)と同様に、反応性に乏しく安定なフロンガスが幅広く使われてきたが、オゾン層破壊や地球温暖化の観点から、他の物質への代替が進められている。